

受贈図書, 平成二十二年度国文学科講義題目,
編集後記, 執筆者紹介, 奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-11-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://osaka-shoin.repo.nii.ac.jp/records/4690

受贈図書

(平成22年1月～22年12月)

- | | | |
|--|---|---|
| <p>日本文化論叢18号
愛知教育大学</p> <p>国語国文学報68号
愛知教育大学</p> <p>国語研究18号
愛知教育大学大学院</p> <p>愛知淑徳大学国語国文学33号
愛知淑徳大学</p> <p>人文学フォーラム8号
跡見学園女子大学</p> <p>梅花日文論叢18号
梅花女子大学人学院</p> <p>別府大学国語国文学51号</p> <p>文教大学国文学39号</p> <p>中央大学国文学53号</p> <p>中京国文学29号
中京人学</p> <p>日本文学研究49号
大東文化人学</p> <p>同志社国文学71・72号
同志社人学</p> <p>同志社女子大学日本語日本文学22号
愛媛大学</p> <p>愛媛国文と教育42号
愛媛大学</p> <p>藤女子大学国文学雑誌81・82号
藤女子大学</p> <p>日本語日本文学19
福岡大学</p> <p>文芸と思想74号
福岡女子大学</p> <p>香椎潟55号
福岡女子大学</p> <p>国語国文学会誌53号
学習院大学</p> <p>ことば30号
現代日本語研究会</p> | <p>国語国文学36号
岐阜大学</p> <p>国語国文学28号
岐阜聖徳学園大学</p> <p>群馬県立女子大学国文学研究30号</p> <p>花園大学日本文学論究2号</p> <p>国文学叢204～207号
広島大学</p> <p>国語国文学誌39号
広島女学院大学</p> <p>日本語日本文学35号
輔仁大学</p> <p>國語國文研究137・138号
北海道大学</p> <p>日本文学誌要82号
法政大学</p> <p>法政文芸6号
法政大学</p> <p>言語表現研究26号
兵庫教育大学</p> <p>実践国文学77・78号
実践女子大学</p> <p>歌子18号
実践女子短期大学</p> <p>国文学論集43号
上智大学</p> <p>国文学科紀要27号
上智大学</p> <p>十文字国文16号
十文字学園女子短期大学部</p> <p>香川大学国文研究34号
香川大学</p> <p>日本文芸研究62巻3・4号・62巻1号
関西学院大学</p> <p>阪神近代文学研究11号
関西学院大学</p> <p>京都光華女子大学研究紀要47号
関西学院大学</p> <p>文林44号
神戸松蔭女子学院大学</p> | <p>国学院雑誌110巻11・12号・111巻1～10号</p> <p>日本研究41号
国際日本文化研究センター</p> <p>論叢38号
駒沢大学</p> <p>国語国文学研究45号
熊本大学</p> <p>熊本県立大学国文研究55号</p> <p>京都人学国文学論叢23・24号
京都女子大学</p> <p>女子人国文146・147号
京都女子大学</p> <p>国文論藻9号
京都女子大学大学院</p> <p>語文研究108・109号
九州大学</p> <p>文芸研究110～112号
明治大学</p> <p>三重大学日本語学文学21号</p> <p>日本語日本文学論集4号
武庫川女子大学人学院</p> <p>並木の里71号</p> <p>南山大学日本文化学科論集10号</p> <p>語文136～138号
日本大学</p> <p>国文目白49号
日本女子大学</p> <p>二松24号
二松学舎大学</p> <p>二松学舎大学人文論叢84・85輯
二松学舎大学</p> <p>国文113・114号
お茶の水女子大学</p> <p>国文論稿38号
岡山大学</p> <p>阪大近代文学研究8号
大阪大学人学院</p> <p>人文学論集28号
大阪府立大学</p> |
|--|---|---|

- 文学史研究50号
大阪市立大学
- 学大国文53号
大阪教育大学
- 国語と教育35号
大阪教育大学
- 大谷大国文40号
大阪大谷大学
- 大妻国文41号
大妻女子大学
- 大妻女子大学大学院文学研究科論集20号
立教大学日本文学103・104号
- 立教大学日本文学91・92号
立命館大学
- 日本語文化研究14号
龍谷大学
- 相模国文37号
相模女子大学
- 成城国文学26号
成城大学
- 成蹊国文43号
成蹊大学
- 成蹊人文研究18号
成蹊大学
- 専修国文86・87号
専修大学
- 国文白百合41号
白百合女子大学
- 日本文学紀要21号
昭和女子大学大学院
- 就実表現文化4号
就実大学
- 近松研究所紀要20号
園田学園女子大学
- 高岡市万葉歴史館紀要20号
帝塚山学院大学
- 日本文学研究41号
帝塚山学院大学
- 国語学研究49号
東北大学
- 東海学園言語・文学・文化68号
東北大学
- 東京大学国文学論集5号
- 徳島文理大学文学論叢27号
徳島文理大学比較文化研究所年報26号
- 徳島大学国語国文学23号
徳島大学
- 東京女子大学日本文学106号
東京女子大学
- 文学論藻84号
文学論藻
- 東洋大学日本文学文化9号
東洋大学
- 東洋大学横光利一研究8号
東洋大学
- 日本語と日本文学50号
筑波大学
- 文芸言語研究言語篇57・58号
筑波大学
- 文芸言語研究文芸篇57・58号
筑波大学
- 国文学論考46号
都留文科大学
- 国文鶴見44号
鶴見大学
- 鶴見大学紀要47号
鶴見大学
- 鶴見日本文学14号
鶴見大学
- 国文学研究160～162号
早稲田大学
- 和洋国文研究45号
和洋女子大学
- 和洋国文研究45号
安田女子大学
- 国語国文論集40号
安田女子大学
- 王朝細流抄13号
安田女子大学大学院
- 與謝野品子研究183～188号
入江春行

平成二十二年度国文学科講義題目

日本文学概論A	中	周子	日本語学研究C	田原 広史	演習II A・II B	有田 節子
日本文学概論B	仲	秀和	日本語学研究D	有田 節子	同右	川瀬 豊子
日本語学A (古典語)	西端	幸雄	書道研究A (鑑賞A)	城市 悦美	同右	北村 英子
日本語学B (現代語)	田原	広史	書道研究B (鑑賞B)	城市 悦美	同右	佐久間貴十
日本語文法A (古典語)	福田嘉一郎		書道研究C (書論A)	森嶋 隆一	同右	白川 哲郎
日本語文法B (現代語)	衣畑 智秀		書道研究D (書論B)	宮崎 彰夫	同右	高橋 和幸
古典作品講読A	中	周子	基礎演習A	北村 英子	同右	谷垣伊太雄
古典作品講読B	谷垣伊太雄		同右	白川 哲郎	同右	西端 幸雄
古典作品講読C	宮川 康子		同右	高橋 和幸	同右	森嶋 隆一
古典作品講読D	北村 英子		基礎演習B	森嶋 隆一	同右	西端 幸雄
近代作品講読A・B	仲	秀和	同右	森西 真弓	同右	宮崎 彰夫
現代作品講読A・B	高橋 和幸		同右	白川 哲郎	同右	池田 光子
短歌理論と創作	安田 純生		同右	田原 広史	同右	池田 光子
俳句理論と創作	佐久間慧子		同右	中 周子	同右	池田 光子
小説理論と創作A・B	高橋 和幸		演習I A・I B	西端 幸雄	同右	池田 光子
日本古典文学史	中	周子	同右	宮崎 彰夫	同右	長岡 悦子
日本近代文学史	高橋 和幸		同右	有田 節子	同右	宮崎 彰夫
古典文学研究A	中	周子	同右	川瀬 豊子	同右	森嶋 隆一
古典文学研究B	谷垣伊太雄		同右	佐久間貴士	同右	森嶋 隆一
古典文学研究C	宮川 康子		同右	白川 哲郎	同右	宮崎 彰夫
古典文学研究D	谷垣伊太雄		同右	高橋 和幸	同右	宮崎 彰夫
近代文学研究A	北村 英子		同右	白川 哲郎	同右	長岡 悦子
近代文学研究B	仲	秀和	同右	谷垣伊太雄	同右	長岡 悦子
比較文学研究A・B	木村有美子		同右	田原 広史	同右	宮崎 彰夫
日本語学研究A	高橋 和幸		同右	中 周子	同右	宮崎 彰夫
日本語学研究B	西端 幸雄		同右	西端 幸雄	同右	松本 宏揮
日本語学研究C	福田嘉一郎		同右	宮崎 彰夫	同右	松本 宏揮
日本語学研究D	同右		同右	森嶋 隆一	同右	金澤 雄介
日本語学研究E	同右		同右	森西 真弓	同右	大和シゲミ

社会学言語学	鳥谷 善史	美術史研究 (日本)	藤岡 穰	歴史文化概説	小西 瑞恵
言語類型論	金澤 雄介	美術史研究 (世界)	鈴木 慈子	国語科教科教育法 A・B	谷垣伊太雄
心理言語学	川上 正浩	宗教史研究	井上 充幸	国語科教科教育法 C・D	木村有美子
日本語学史	西端 幸雄	女性の歴史	住友 元美	書道科教科教育法 A・B	城市 悦美
日本語の音声と音韻	大和シゲミ	文化交流史	川瀬 豊子	【平成二十二年度入学生用】	
言語生活	鳥谷 善史	日本史 A (古代)	田中 聡	大学入門ゼミ	田原 広史
日本語の文字と表記	木村 雅則	日本史 B (中世)	小西 瑞恵	同 右	中 周子
日本語の語彙と意味	木村 雅則	日本史 C (近世)	中川すがね	同 右	西端 幸雄
日本語の歴史	西端 幸雄	日本史 D (近現代)	北野 裕子	同 右	森西 真弓
日本語教育学	小林 明美	東洋史 A	森谷 一樹	文学の読み方	中・田原・森西・長岡
日本語教育事情	小林 明美	東洋史 B	井上 充幸	日本語表現ゼミ	田原 広史
日本語教材論	小林 明美	西洋史 B	宮崎 章	同 右	中 周子
日本文化実習 C	北村 英子	考古学 (日本)	佐久間貞士	同 右	西端 幸雄
日本文化実習 D	廣瀬浩二郎	考古学 (世界)	佐久間貞士	同 右	森西 真弓
歴史文化史料講読 A	井上 充幸	古文書演習 A	小西 瑞恵	国文学入門	田原・塚本・仲・森西・森西
同 右	西尾 泰広	古文書演習 B	中川すがね	日本文化論	北村 英子
同 右	白川 哲郎	考古学実習 A・B	佐久間貞士	日本文化論	白川 哲郎
歴史文化史料講読 B	中川すがね	文化遺産の調査と活用	白川 哲郎	日本文学概論	中 周子
同 右	田中 聡	大衆文化論	森西 真弓	日本語学概論	田原 広史
同 右	川瀬 豊子	上方文化論	森西 真弓	書道概論	森西 隆一
歴史文化総合研究 A	白川 哲郎	都市の歴史と文化	小西 瑞恵	書道概論	森西 真弓
歴史文化総合研究 B	佐久間貞士	東洋の歴史と文化	森谷 一樹	創作表現概論	塚本 裕三
古代中世史研究	白川 哲郎	西洋の歴史と文化	宮崎 章	リブカルチャー文芸概論	小堀 孝之
生活文化史研究	中本 剛二	人文地理学	阪野 祐介	作品制作基礎	宮崎 彰夫
考古学研究 A	佐久間貞士	自然地理学	岡田 俊子	書写 A	宮崎 彰夫
考古学研究 B	秋山 浩三	地誌	阪野 祐介	書写 B	宮崎 彰夫
		文化遺産論	佐久間貞士	同 右	森西 隆一

編集後記

今年三月をもって、長年、本学の教育に携わってこられた三名の教授がご退職になる。中世文学のご専門であるが流行の漫画や海外文学にも精通され、いつもユーモア溢れるスピーチで場を和ませてくださった谷垣伊太雄先生、平安朝の文学を研究する傍ら様々な文学事象を絵画化するというユニークな「教育かるた」を指導してこられた北村英子先生、国語学のご専門で『万葉集』をはじめ古典文学作品の語彙を幅広く研究される一方、熱烈な阪神ファンの西端幸雄先生。国文学科の研究と教育の中核となって来られた先生方のご退職は国文学科にとって大きな喪失である。先生方の築いて来られた伝統ある国文学科をいかに維持し発展させてゆくか、後に残る私たちの責任はあまりにも重い。

前号でもお知らせした通り、国語国文学会という名称は変わらないが、国文学科の教育内容は年々変わりつつある。そのような学科の動向を反映し「檀蔭国文学」の内容も、今号は国文学関連の論考三編、卒業制文（卒業制作）二編、創作一編という多彩な内容となった。卒業生からの投稿が活発であることは喜ばしいことである。卒業論文と卒業書作は、いずれも主査・副査の両者から高い評価を得たものである。神於さんの卒業論文は百二十枚を超える大作であったために、前半のみの掲載となった。また、書道の卒業制作を掲載するのは初めての試みであるが、紙面の関係上、現物の迫力が伝わりにくいことが残念である。

今後とも、「檀蔭国文学」への会員諸氏の活発な投稿をお待ちしている。なお、採否については編集委員会に、任願したい。

〔檀蔭国文学〕編集委員会

執筆者紹介（掲載順）

安田 純生 本学非常勤講師

露 口 香代子 本学国文学科・昭和五十九年三月卒業

中 周子 本学教授

神 於 希衣 本学国文学科・平成二十三年三月卒業

竹 中 舞香 本学国文学科・平成二十三年三月卒業

歌 野 博 本学教授

樟蔭国文学 第四十八号

平成二十三年三月一日発行

編集者 大阪樟蔭女子大学
国語国文学会
（代表者 中 周子）

印刷所 大阪府鶴野区寺町北一丁目十六
株式会社 信利

電話 〇六六七三二八三三

五七七七八五五〇

東大阪中菱屋西四丁目二番二六号
大阪樟蔭女子大学国文学研究室内

発行所 大阪樟蔭女子大学
国語国文学会

電話 〇六六七三二八二